

公開実用 昭和 58— 154143

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—154143

Si Int. Cl.²
B 65 D 35 38

識別記号

庁内整理番号
6247—3E

⑬ 公開 昭和58年(1983)10月15日

審査請求 未請求

(全 頁)

54 練り状製品容器の着脱式口金

⑭ 考案者 大口勝雅
名古屋市中川区八王子町21番地

21 実 願 昭57—51195
22 出 願 昭57(1982)4月7日

⑮ 出願人 大口勝雅
名古屋市中川区八王子町21番地

明 細 書 第 1

1. 考案の名称 練り状製品容器の着脱式口金

2 実用新案登録請求の範囲

1. 絞り出し口に装飾的形状ノを有し、上部外側と下部内側にその取り付けられる練り状製品容器の蓋と同じ径、かつ同じピッチのねじ溝23を有する口金。

2 合成樹脂により製作された、実用新案登録請求の範囲第1項記載の口金。

3 既に第三者により製造、市販されている絞り出し容器入りの日用品、食料品の容器の蓋取り付け部分の径、ピッチに合わせて製作された、実用新案登録請求第2項に記載の口金。

3. 考案の詳細な説明

本考案は練り状製品の絞り出し口金に関する考案である。

第 2

本考案は第三者により製造、市販されている絞り出し容器入りの日用品、食料品に、その使用に際して任意の装飾的形狀に絞り出す機能を安価、かつ簡便に与え、娯楽性を高めるものである。

練り状製品の絞り出し容器の多くは、装飾的形狀に絞り出す目的をもっては作られておらず、従って使用者の意図によって、装飾的形狀に絞り出すためには、別の絞り袋に詰め替える等の手数と費用が必要である。又一部の練り状製品では容器本体の絞り出し口に装飾的形狀を与えているが、一つの容器からは同一の形狀しか絞り出せない。

本考案は上記の様な欠点を解決し簡便かつ安価に種々の形狀に絞り出せる様にしたものである。

図に於て3は取り付けられる練り状製品容器の蓋と同じ径、ピッチを持つねじ溝であり、これにより、本考案の口金は容器に直接取り付けられ、内容物を移し替える事なく、任意の形狀ノに絞り出す事ができる。又同様のねじ溝2に

Fig. 3

より容器本体の蓋を、この口金の上に取り付けられるので、使用中断時に口金をはずす事なく蓋ができる。又この口金は単一の部品からなり、安価に大量生産できる。

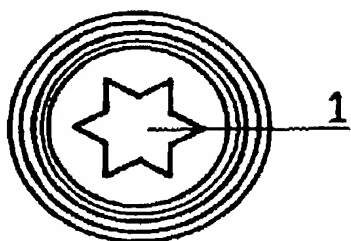
4 図面の簡単な説明

第1図は本考案の平面図、第2図は一部縦断側面図、第3図は絞り出し口の形状ノの変化形を例示する図、第4図は実施例を示す斜視図である。

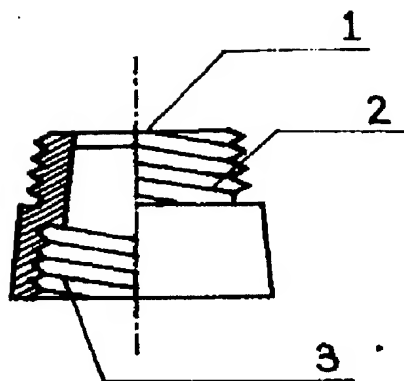
実用新案登録出願人

大 口 勝 雅

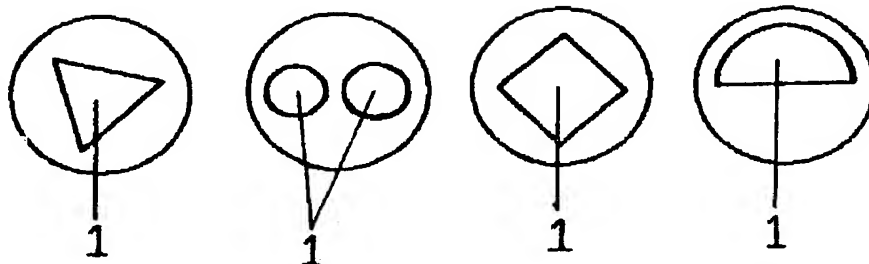
第 1 圖



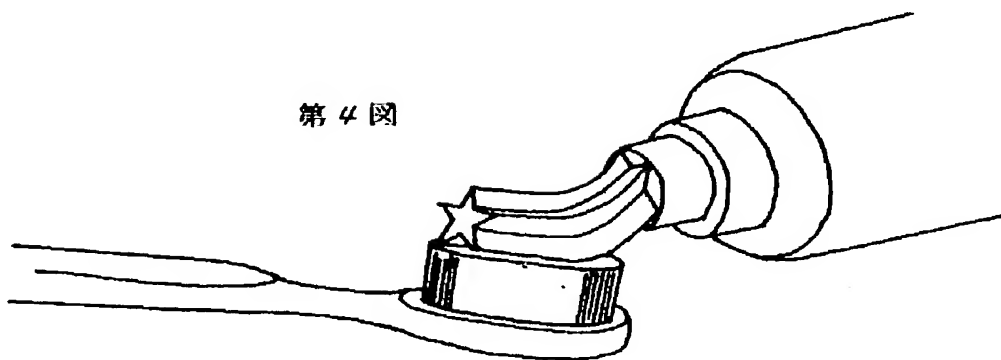
第 2 圖



第 3 圖



第 4 圖



實用新案登錄出願人

人 日 勝 雅